

CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版
 (仮称)井手多賀パーク新築工事 A棟:フレッシュハザード

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

スコアシート 実施設計段階

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	Q1		Q2		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質						2.7
Q1 室内環境			0.40		-	
1 音環境		1.8	0.15		-	1.8
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.40		-	
1.2 遮音		1.0	0.40		-	
1 開口部遮音性能		1.0	1.00		-	
2 界壁遮音性能		-	-		-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-		-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-		-	
1.3 吸音		1.0	0.20		-	
2 温熱環境		3.0	0.35		-	3.0
2.1 室温制御		3.0	0.50		-	
1 室温		3.0	0.17		-	
2 外皮性能		3.0	0.33		-	
3 ソーン別制御性		3.0	0.20		-	
2.2 湿度制御		3.0	0.30		-	
2.3 空調方式		3.0	0.20		-	
3 光・視環境		3.0	0.25		-	3.0
3.1 昼光利用		3.0	0.50		-	
1 昼光率		-	-		-	
2 方位別開口		-	-		-	
3 昼光利用設備		3.0	1.00		-	
3.2 グレア対策		-	-		-	
1 昼光制御		-	-		-	
3.3 照度		-	-		-	
3.4 照明制御		3.0	0.50		-	
4 空気質環境		2.9	0.25		-	2.9
4.1 発生源対策		3.0	0.50		-	
1 化学汚染物質		3.0	1.00		-	
4.2 換気		2.0	0.30		-	
1 換気量		3.0	0.50		-	
2 自然換気性能		-	-		-	
3 取り入れ外気への配慮		1.0	0.50		-	
4.3 運用管理		4.0	0.20		-	
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50		-	
2 喫煙の制御	建物全体禁煙	5.0	0.50		-	
Q2 サービス性能			0.30		-	3.3
1 機能性		3.4	0.40		-	3.4
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40		-	
1 広さ・収納性		-	-		-	
2 高度情報通信設備対応		3.0	1.00		-	
3 バリアフリー計画		4.0	0.30		-	
1.2 心理性・快適性		5.0	0.50		-	
1 広さ感・景観	売場天井高3.6m	-	-		-	
2 リフレッシュスペース		3.0	0.50	3.0	-	
3 内装計画		3.5	0.30		-	
1.3 維持管理		4.0	0.50		-	
1 維持管理に配慮した設計	②床材防汚性の高い材料(長尺シート) ④埃の溜まりにくい設計(巾木床材立上げ)(壁掛け式小便器) ⑤風除室内で自動扉が感知しない距離確保(電波スイッチ方式) ⑥大きく異なる床材の接近なし(売場エリア(タイル、長尺シート)、バックヤード(塗床、塩ビタイル)) ⑦外壁面は防汚性の高い塗料を使用(サイディングセラミック塗装)	4.0	0.50		-	
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50		-	
2 耐用性・信頼性		3.0	0.30		-	3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.80		-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.20		-	
2 免震・制震・制振性能		3.4	0.30		-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.20		-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20		-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.10		-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10		-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.20		-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水・給湯・雑排水管共B以上使用	5.0	0.20		-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20		-	
2.4 信頼性		2.4	0.20		-	
1 空調・換気設備		3.0	0.20		-	
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20		-	
3 電気設備		3.0	0.20		-	
4 機械・配管支持方法		1.0	0.20		-	
5 通信・情報設備		2.0	0.20		-	

3 対応性・更新性			3.4	0.30		-	3.4
3.1 空間のゆとり			4.6	0.30		-	
1 階高のゆとり		階高4.6m	5.0	0.60		-	
2 空間の形状・自由さ		壁長さ比率0.1以上	4.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	3.0	-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40		-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.20		-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.20		-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.10		-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.10		-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.20		-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30		-	2.2
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30		-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40		-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30		-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50		-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性							3.6
LR1 エネルギー				0.40			4.0
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI _m =0.94	3.4	0.20		-	3.4
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10		-	3.0
3 設備システムの高効率化		BEI _m =0.35	5.0	0.50		-	5.0
4 効率的運用		BEI _m =0.71→035	3.0	0.20		-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00		-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50		-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50		-	
集合住宅の評価							
4.1 モニタリング							
4.2 運用管理体制							
LR2 資源・マテリアル				0.30			2.8
1 水資源保護			3.0	0.20		-	3.0
1.1 節水			3.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60		-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70		-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30		-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.5	0.60		-	2.5
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10		-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20		-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20		-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			1.0	0.20		-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.10		-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			3.0	0.20		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.7	0.20		-	3.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30		-	
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.70		-	
1 消火剤			-	-		-	
2 発泡剤(断熱材等)		発砲材を用いた断熱材を使用していない(グラスウール)	5.0	0.50		-	
3 冷媒			3.0	0.50		-	
LR3 敷地外環境				0.30			3.8
1 地球温暖化への配慮		省エネ機器採用	5.0	0.33		-	5.0
2 地域環境への配慮		評価点4→5	3.3	0.33		-	3.3
2.1 大気汚染防止		Nox 50ppm以下	4.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.2	0.25		-	
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25		-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25		-	
3 交通負荷抑制		駐車場・駐輪場の確保、車両出入口3カ所設置	4.0	0.25		-	
4 廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33		-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	
1 騒音			3.0	0.33		-	
2 振動			3.0	0.33		-	
3 悪臭			3.0	0.33		-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40		-	
1 風害の抑制			3.0	0.70		-	
2 砂塵の抑制			1.0	-		-	
3 日照阻害の抑制			3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20		-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		各ガイドラインのチェックリストの過半を満たす	5.0	0.70		-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30		-	

CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版

(仮称)井手多賀パーク新築工事 A棟:フレッシュパザール

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	2.0	2.0	○	-	-	○	-	○	-	○	-	-	-	-	-
1.3.1 維持管理に配慮した設計	6.0	-	-	○	-	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-
1.3.2 維持管理用機能の確保	4.0	-	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-
2.4.1 空調・換気設備	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.2 給排水・衛生設備	2.0	2.0	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.3 電気設備	1.0	1.0	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.5 通信・情報設備	1.0	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	1.0	-	-	-	-	-
2 まちなみ・景観への配慮	3.0	-	2.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	2.0	-	-	1.0	-	-	-	-	-	1.0	-	-	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	2.0	-	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.1 材料使用量の削減	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 有害物質を含まない材料の使用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	7.0	-	1.0	-	2.0	3.0	-	-	-	-	1.0	-	-	-	-
2.3.3 交通負荷抑制	3.0	-	1.0	-	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	3.0	-	1.0	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.2.2 砂塵の抑制	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.3.1 屋外照明及び室内照明の3つに置れる光への対策	4.0	-	2.0	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

主な指標

Q1 室内環境

2.1.3 外皮性能

窓システムSC	-	窓の日射熱取得率(η)	-	
U値(W/m ² K)	窓システム	屋根	外壁	床
住戸部分	窓システムU値	外皮UA値	ηAC	ηAH

3.1.1 昼光率

昼光率 0.0%

4.2.2 自然換気性能

自然換気有効開口面積率 0.0%

Q2 サービス性能

1.1.1 広さ・収納性

執務スペース	0.0m ² /人	病床	0.0m ² /床	シングル	0.0m ² ツイン	0.0m ²
--------	----------------------	----	----------------------	------	-----------------------	-------------------

1.1.2 高度情報通信設備対応

コンセント容量 0.0 VA/m²

1.2.1 広さ感・景観

天井高 0 m

1.2.2 リフレッシュスペース

リフレッシュスペース 0.0% レストスペース 0.0%

2.2.1 躯体材料の耐用年数

想定耐用年数 0 年

2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔

想定必要間隔 0 年

2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔

想定必要間隔 0 年

2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔

想定必要間隔 0 年

3.1.1 階高のゆとり

階高 4.8 m

3.1.2 空間の形状・自由さ

壁長さ比率 10.0%

3.2 荷重のゆとり

床荷重 2900 N/m²

Q3 室外環境(敷地内)

1 生物資源の保全と創出

外構緑化指数 3% 建物緑化指数 0%

3.2 敷地内温熱環境の向上

空地率 20% 水平投影面積率 3% 地表面対策面積率 2% 舗装面積率 58%

LR1 エネルギー

1 建物外皮の熱負荷抑制

BPI/BPI_m 0.94 断熱等性能等級 対象外 相当

2 自然エネルギー利用

自然エネルギー直接利用量 0 MJ/年m² 採光を満たす教室数 0.0% 採光を満たす住戸数 0.0%

通風を満たす教室数 0.0% 通風を満たす住戸数 0.0%

3 設備システムの高効率化

BPI/BPI_m 非住宅 0.35 住宅 - 太陽光 0.0kW 太陽熱等 0.0kW 蓄電池 0.0kW

LR2 資源・マテリアル

1.2.1 雨水利用システム導入の有無

雨水利用率 0.0%

2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用

特定調達品目 - エコマーク商品 - 自治体指定の特定品目等 -

2.5 持続可能な森林から産出された木材

使用比率 0.0%

3.2.1 消火剤

オン/層破壊係数(ODP) 地球温暖化係数(GWP)

3.2.2 発泡剤(断熱材等)

オン/層破壊係数(ODP) 地球温暖化係数(GWP)

3.2.3 冷媒

オン/層破壊係数(ODP) 地球温暖化係数(GWP)

LR3 敷地外環境

2.2 温熱環境悪化の改善

見付面積比	43%	隣棟間隔指標Rw	0.86						
地表面対策面積率	2.0%	屋根面対策面積率	0.0%	外壁面対策面積率	0.0%				
見付面積S _b	593m ²	卓越風向と直交する最大敷地幅W _s	85.15 m	基準高さH _b	15.33 m				
緑地	137m ²	水面	m ²	保水性対策面	m ²	高反射対策面	m ²	再帰性反射対策面	m ²